



代表の萩原氏

経営概要

◆代表者、所在地

代表 萩原立己、山口県長門市

◆設立年

令和5年3月

◆経営規模

水稻 52ha、樹苗 0.4ha

◆従業員数

役員2名、正社員3名、パート・アルバイト5名

◆事業内容

水稻と樹苗生産を組み合わせ、周年作業体系を確立している。
地域の農地を集約し、家族労働力を主とした大規模経営に取組む。

1

現状及び相談内容

萩原氏は、高齢化が進む中山間地域の農地の受け手として稲作と苗木の生産を組み合わせた経営規模の拡大に取り組んできた。

近年、急速に経営規模が拡大しており、新たな人材確保を進めるため法人化に取り組むこととしたものの、**法人化に伴う社会保険料の負担や資産の継承等**に不安があった。

2

支援内容

山口県農業経営・就農支援センターと普及指導センターが連携し、**法人化後の社会保険料の負担額の試算や法人化に伴う個人資産の継承方法等について助言**を実施した。

また、人材確保と定着に向け、**就業規則の策定や労働環境の改善などに関する助言**を実施した。

3

人材の確保・育成に資する取組

★水稻と苗木の生産を通じた周年雇用体制の確立及び他産業並みの給与の実現を図るとともに、今後の若者雇用に向けた週休2日制を導入した就業規則の整備

■周年雇用体制の確立

春から秋には**役員・正社員を中心とした大規模稲作経営**に取り組み、冬季には、パート・アルバイトを活用して、販売価格が安定している**樹苗に取り組んでおり、他産業並みの給与を従業員に支払える周年雇用体制**となっている。

■若い人材の雇用に向けた法人化

経営規模が拡大してきたため、**今後、新たな若い人材を雇用することが必要と考え、社会保険制度を整備するために家族経営を法人化した。**

■人材の定着に向けた労働環境改善

今後の**若い人材の雇用に向け、雇用契約書や就業規則の整備が必要**と考え、週休2日制を導入した就業規則等の整備を実施した。



(株)萩原のほ場と法人代表

今後の意気込み

今後も管理を依頼される農地は増加すると思われるので、早めに若い人材を雇用し、育成することで、今後の規模拡大や将来的な経営継承につなげたい。

専属スタッフ所感

法人化に際しての経営課題の解決を支援でき、スムーズな法人化が図られた。今後、規模拡大と併せた一層の経営発展が期待されます。